

施策番号	0804		
施策名	伝統産業の活性化と新たな展開の推進		
概要	京都の基盤産業である伝統産業の活性化を図るため、事業者等による新たな販路開拓の取組に対する支援事業、普及啓発、技術の継承や後継者の育成などの施策を積極的に展開する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市伝統産業活性化推進計画		

施策の評価

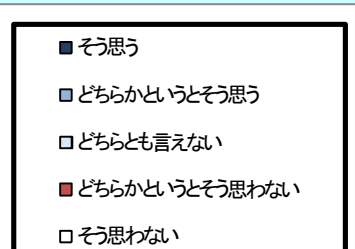
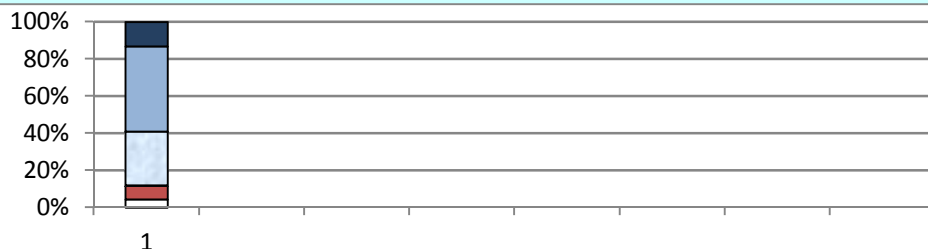
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					指標のウエイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 伝統産業製品の出荷額(億円)	-	-	2,396	2,316	2,730	84.8%	a	1.00
2 伝統産業に接したことがある市民の割合(%)	-	-	200.5	186.6	220	84.8%	a	1.00
3 「伝統産業の日」事業の来場者数(人)	-	-	233,937	220,650	300,000	73.6%	d	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価							b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	75	257	163	42	24	561	b
	13.4%	45.8%	29.1%	7.5%	4.3%		
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							b



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 伝統産業の活性化施策の実績は、伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合などの客観的数値に表れるものであり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えたため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価については、東日本大震災による影響から、「伝統産業の日」事業の来場者数が昨年減となり、d評価であったものの、伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合がa評価であったため、b評価となった。また、市民生活実感評価はb評価となり、やや良い状況にある。 ・このため、総合評価はB評価となった。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	販路開拓, 産地商品宣伝	52,331	54,187	かなり良い	産業観光局
2	「わたしたちの伝統産業」の制作(きもの文化教育副読本)	1,862	1,963	良い	産業観光局
3	ファッション推進	5,633	4,923	かなり良い	産業観光局
4	後継者育成事業	10,217	12,835	かなり良い	産業観光局
5	技術功労者顕彰制度	15,541	15,827	かなり良い	産業観光局
6	京都伝統産業ふれあい館運営	31,722	32,722	良い	産業観光局
7	「伝統産業の日」関連事業	30,483	35,483	良い	産業観光局
8	京の「匠」ふれあい事業	21,300	21,673	かなり良い	産業観光局
9	京もの活用事業	7,734	7,434	かなり良い	産業観光局
10	京ものきらめきチャレンジ事業	14,220	12,639	かなり良い	産業観光局
11	伝統産業道具類等確保事業	2,378	2,378	普通	産業観光局
12	京もの全国普及事業	25,964	22,764	かなり良い	産業観光局
13	京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度	7,446	8,177	かなり良い	産業観光局
14	工程別技術者調査	2,245	-	良い	産業観光局
15	「京都館」運営	124,237	125,458	良い	産業観光局
16	伝統産業活性化推進審議会運営	3,119	3,524	-	産業観光局
17	和装産業活性化戦略プランの策定・推進	46,564	39,164	-	産業観光局
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・客観指標である伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合の達成度は、いずれも80%台であり、「伝統産業の日」事業の来場者数も目標値を達成できていないため、今後とも伝統産業に関する取組の支援や情報発信、「伝統産業の日」事業の充実を進めていく。

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進
-----	------	-------------------

指標名	伝統産業製品の出荷額（億円）
-----	----------------

担当課	伝統産業課	連絡先	222-3337
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市指定の伝統産業製品を対象とした出荷額

2 指標の意味

伝統産業の活性化の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：平成18年度現況値（2,703億円）の1%増
出典：業界アンケート調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	20年度	21年度		数値	根拠	達成度
数値	2,396	2,316	80億円減	2,730	京都市伝統産業活性化推進計画	84.8%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・集計時期の関係上、最新数値は21年度数値（暫定値）となる。 ・平成23年度に「京都市伝統産業活性化推進計画」を改定し、目標値を再設定する。
----	---

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

指標名	伝統産業に接したことがある市民の割合（%）
-----	-----------------------

担当課	伝統産業課	連絡先	222-3337
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

市政総合アンケートの「どのような場面で伝統産業に接したことがあるか」という設問に対する回答の割合（「接したことがない」という回答以外の合計）

2 指標の意味

伝統産業の普及状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：市政総合アンケート

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	200.5	186.6	13.9ポイント減	220	京都市伝統産業活性化推進計画	84.8%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	平成23年度に「京都市伝統産業活性化推進計画」を改定し、目標値を再設定する。
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

		23
-	-	a

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進									
指標名	「伝統産業の日」事業の来場者数（人）										
担当課	伝統産業課	連絡先	222-3337								
1 指標の説明											
「伝統産業の日」関連事業すべての来場者数の合計											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
「伝統産業の日」事業の取組状況を示す指標			出典：「伝統産業の日2011」事業実績								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度					
数値	233,937	220,650	13,287人減	300,000	京都市伝統産業活性化推進計画	73.6%					
	全国順位	中長期目標			根拠						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
備考	平成23年度に「京都市伝統産業活性化推進計画」を改定し、目標値を再設定する。										
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		目標達成には相当の努力を要するものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>d</td> </tr> </table>				23	-	-	d
		23									
-	-	d									